

# 1 施設計画概要

## (1) 施設の概要

千葉県千葉リハビリテーションセンターは、リハビリテーション医療施設、医療型障害児入所施設「愛育園」、児童発達支援センター、障害者支援施設「更生園」及び補装具製作施設等で構成される医療と福祉の複合的施設となっている。

主に身体に障害を有する方々に対し、入院・外来診療又は一定期間の入所により、高度の医学的、社会的及び職業的リハビリテーションを総合的に行い、家庭・社会復帰の促進を図るとともに、県内の同種施設に対する技術的な助言、支援を行うなど、本県障害者リハビリテーション体制の中心的な役割を果たしている。

設立から40年余りが経過し、施設の老朽化、狭隘化が進んでいることから再整備を行い、早期の社会・家庭復帰に向けたリハビリテーション提供体制の強化や重症心身障害児者・医療的ケア児等への支援・療養環境の整備など、今後、より一層センターに求められる役割・機能を踏まえた施設計画を行う。

## (2) 立地環境・計画条件

本敷地は、南側に森林を有する斜面地である。東側隣地に「袖ヶ浦特別支援学校」、西側隣地に「千葉県こども病院」が位置し、相互に運用連携がなされている。本計画では、既存センターを運営しながら、建設工事を行う。



## (3) 土地利用・配置計画

前面道路（市道萱田町120号線）及び敷地南側からの3つの既存出入口を活用しつつ、緩勾配でアクセス可能な敷地北東出入口を主出入口として計画する。

南北に1階分の高低差がある敷地特性を活かし、正面玄関となる2階に外来部門・総合相談部門に直接アプローチできる北側駐車場を計画し、新たに利用者が使用する出入口を1階に設け、食堂、理美容室、福祉利活用室などの各種サービスに直接アプローチできるように南側駐車場を計画する。また、十分な幅員を確保した敷地内歩道を計画し、多様な利用者の敷地内移動や歩行訓練等に配慮した計画とする。

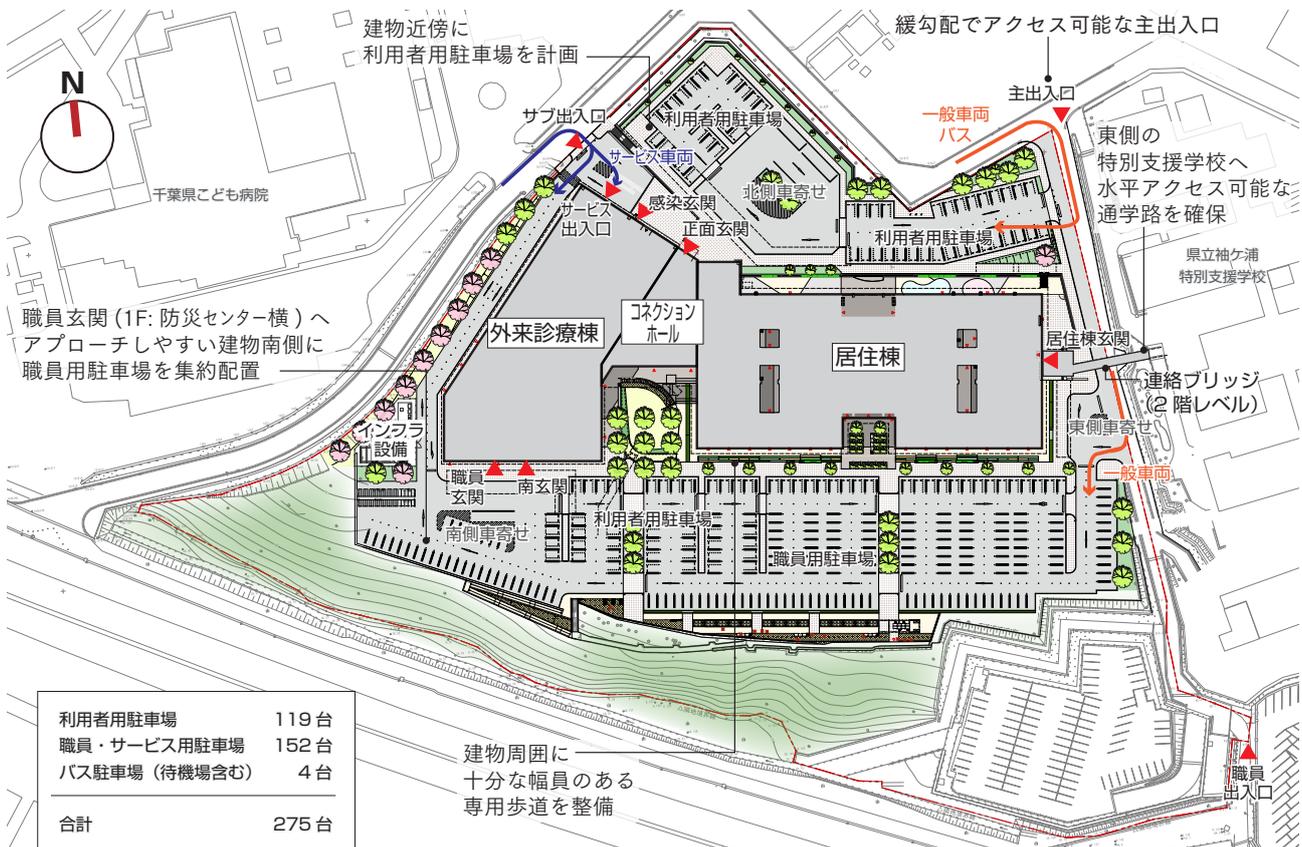


図2：配置イメージ